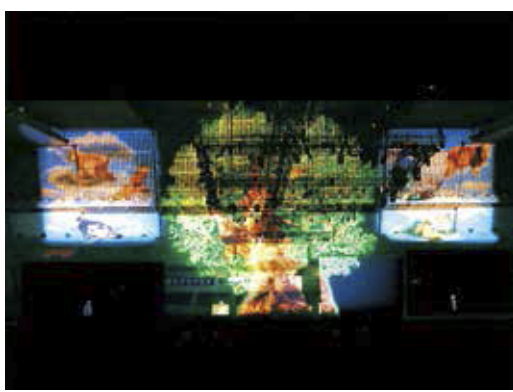


植樹・式典



植樹

長野県全域をステージとした県民主体・県民参加による広域開催型の大会とするため、多くの県民に参加していただけるよう10地区に県民植樹会場を設け、5月から県民植樹を行いました。

◆県民植樹

●南木曾町 漆畑地区(5月21日(土))



●池田町 あづみ野池田クラフトパーク(5月27日(金))



●飯山市 菜の花公園周辺(5月21日(土))



●小海町 小海町総合グラウンド(5月28日(土))



●松川町 およりの森(5月22日(日))



●岡谷市 湊地区(本沢川上流)(5月28日(土))



県民植樹会場のうち4地区は6月5日(日)に県民植樹を行い、そのうち3地区では式典に参加する招待者も記念植樹を行いました。

◆県民植樹

●伊那市 鳩吹公園(6月5日(日))



●松本市 アルプス公園(6月5日(日))



◆県民植樹及び招待者記念植樹

●上田市 自然運動公園(6月5日(日))



●長野市 茶臼山自然植物園(6月5日(日))



式典会場

6月5日(日)、長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブで式典を開催しました。

◆参加者入場

県内外から招待者が式典会場に集まりました。



◆臨時託児所

6歳未満のお子様を伴う招待者のために臨時託児所を開設しました。



◆おもてなし広場

県内各地域の特色ある飲食物や特産品の提供・販売、観光PR、森林・林業に関する取組の紹介、ステージイベント等を実施し、長野県の魅力を発信しました。



◆湯茶接待所



◆総合案内所



◆実施本部



プロローグ ～ようこそ信州へ～

式典では信州が育んできた「木と森の文化」や「歴史」、長野県の実績やビジョン、木や森に携わる人々の“想い”を伝えました。

◆4会場との中継

式典会場と植樹会場を実況中継映像で結び、各会場の盛り上がりを双方向で体験しました。



上田会場 長野朝日放送 吉田一平アナウンサー



伊那会場 信越放送 岸田奈緒美アナウンサー



松本会場 長野放送 西方沙和子アナウンサー



長野会場 テレビ信州 内田有紗アナウンサー

◆ナビゲーター

信州の山々を眺めて暮らすおじいさんと孫娘が、温かく言葉を交わしながら式典を案内しました。



おじいさん役：上條恒彦さん（朝日村出身） 孫娘役：為永幸音さん（長野市出身）

◆プロローグアトラクション

幾世代にもわたって大切に伝承されてきた「木と森の文化」の一つ、長野県に古くから伝わるお祭りや招待者を迎えました。



お獅子の赤い色が印象的な勢獅子 ながの祇園祭屋台運行実行委員会 権堂勢（きおい）獅子



「飯田お練りまつり」に登場する日本一の大神獅子といわれる東野大神獅子 東野大神獅子保存会



伝説が元となり生まれた「御代田の龍神まつり」信州御代田 龍の舞保存会 信州御代田 龍神太鼓保存会 鼓響(こきょう)



長野県を代表する天下の大祭「御柱祭」の木遣り 下諏訪町木遣保存会

◆感謝状贈呈

第67回全国植樹祭の大会テーマ、大会ポスター原画、シンボルマークを考案していただいた方々に感謝状を贈呈しました。



大会テーマ考案者 池永一広さん



大会テーマ考案者 兵藤怜美さん



大会ポスター原画制作者 中村実紘さん
(応募当時：高遠高等学校2年)

シンボルマーク制作者 盛秀雄さんご欠席

◆東日本大震災復興支援

大震災からの復興を願い、大きな被害を受けた岩手、宮城、福島に緑化資材等を贈呈しました。



岩手県議会議長 田村誠さん



宮城県環境生活部長 佐野好昭さん



福島県農林水産部長 小野和彦さん

◆記念切手贈呈

日本郵便株式会社から、第67回全国植樹祭の開催を記念したふるさと切手「国土緑化(長野県)」の初刷りの贈呈を受けました。



日本郵便株式会社代表取締役社長 高橋亨さん



記念切手デザイン



◆天皇皇后両陛下下御着



◆開会のことば



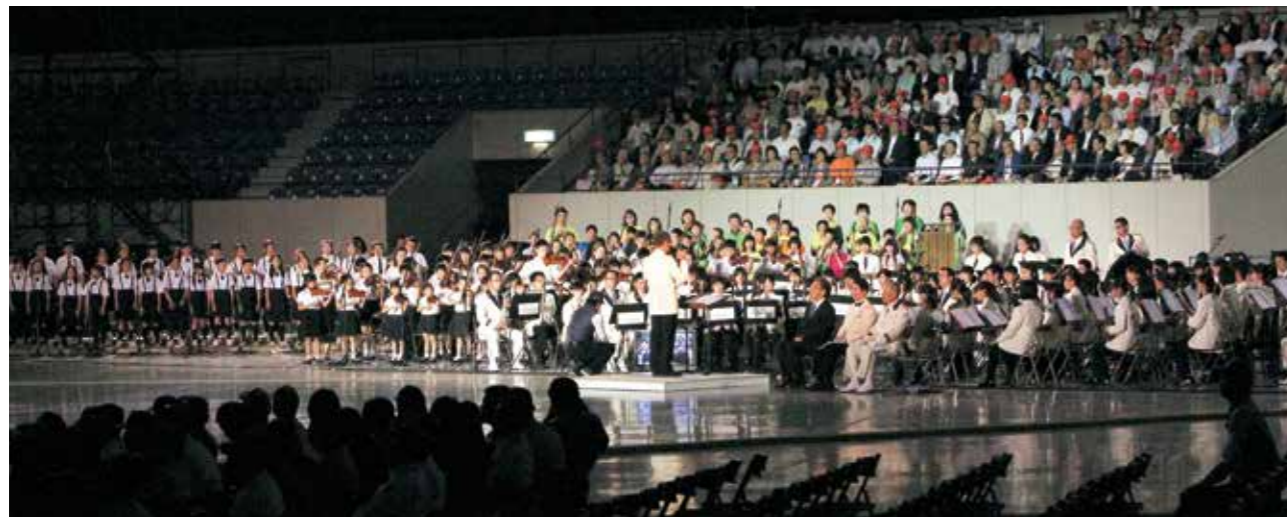
公益社団法人国土緑化推進機構 副理事長 前田直登

◆三旗掲揚・国歌斉唱



掲揚：みどりの少年団、日本ボーイスカウト長野県連盟、
一般社団法人ガールスカウト長野県連盟

◆式典音楽隊



◆主催者あいさつ



大会会長あいさつ

公益社団法人国土緑化推進機構 会長
衆議院議長 大島 理森

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、第67回全国植樹祭を開催するにあたり、主催者として一言ご挨拶を申し上げます。

まず、本年4月に発生した熊本地震により、甚大な被害が発生いたしました。また、長野県も近年、地震が頻発し、多くの被害を出されております。これらの災害によりお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げ、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今大会は、日本の屋根といわれるアルプスの峰々に抱かれ、千曲川・天竜川・木曾川など日本有数の河川の源流をあまた擁するここ長野県で、昭和39年以来52年ぶりに開催されます。

国土の7割を占める森林は、国土の保全や水源涵養、地球温暖化防止など、多面的な機能を有し、私たちに多くの恵みを与えてくれますが、近年、山村の過疎化が進み、手入れが適切に行われなくなるなど、森林が有する機能の低下が懸念されます。

「植えて」、「育てて」、「活用する」という森林の循環を確実にし、その機能が持続的に発揮できるように取り組んでいくことは、私達一人一人に課せられた大きな使命です。

長野県では、戦後、多く植栽されたカラマツが、先人たちのたゆまぬ努力により、立派に育ち、この会場の天井をはじめ、学校や大規模商業施設など、様々な場所で広く使われるようになっていきました。また、長野県では、森林・林業の循環を取り戻すため、現在、海外の林業先進国と林業技術に係る連携・交流を積極的に進めておられるとも伺っております。

こうした中、本日、ここ「長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブ」において、「ひと ゆめ みどり 信濃から 未来へつなぐ 森づくり」をテーマに、第67回全国植樹祭が開催されますことは、大変意義深いことでもあります。

今年、諏訪地方では、7年に一度の「諏訪大社御柱祭」が行われ、およそ10トンにもなる巨木の御柱を動かす際には、木遣り唄を唄うことで人々の心が一つになり、御柱が動くと言われています。この唄のように、この植樹祭を契機として、県民はもとより、国民全体の心が一つになり、美しく豊かな森林を次世代につないでいく大きな力となることを願ってやみません。

ご参集の皆様には、本大会の趣旨を踏まえ、今後とも緑化の推進にご尽力賜りますようお願いいたしますとともに、開催にあたりご苦勞をいただきました長野県の皆様を始め関係各位に厚く御礼を申し上げまして、ご挨拶いたします。

平成28年6月5日

◆主催者あいさつ



長野県知事あいさつ

長野県知事 阿部 守一

まず始めに、熊本地震により犠牲になられた多くの皆様に、謹んで哀悼の意を表します。また、被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い平穏と復旧をお祈り申し上げます。

本日ここに天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、第67回全国植樹祭を開催できますことは、長野県民にとりまして誠に光栄であります。また、全国各地からご参加をいただきました皆様、緑深まる信州へようこそお越しくださいました。県民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

また、本大会開催にあたり、多大なご支援をいただきました関係の皆様方に深く感謝いたしますとともに、栄ある表彰を受けられます皆様方に心からお祝いを申し上げます。

森林が県土の8割を占める長野県は、かつて「信濃の国」と呼ばれ、その由来は「シナノキ」であるとも言われます。「御柱祭」をはじめとした伝統行事、堅牢で多様な技法を有する木曾漆器に代表される伝統工芸品など、多彩な「木と森の文化」を育んでまいりました。

我が国では、戦後植樹した木々が成長し、今まさに森林資源として利活用すべき時を迎えています。本県では、住宅等への県産材利用の積極的拡大はもとより、木質バイオマス発電による自然エネルギーとしての利用など、森の恵みを最大限に活かした地方創生の取組を進めております。

また、全国一の数を誇る「森林セラピー基地」や全国に先駆けて創設した「自然保育認定制度—信州やまほいく—」のように、森林環境を観光・医療・教育に多面的に活かすための施策も進めており、本県を森林県から林業県へと発展させるべく取り組んでおります。

今回の大会では、準備段階から多くの皆様に苗木の育成等の活動にご参加いただきました。また、県内10か所に植樹会場を設け、10万本の植樹を行います。こうした活動を通じて、森林を守り育ててきた先人の努力に思いを馳せ、森林の魅力や価値を改めて見つめ直し、本県の豊かな森林を次の世代に確実に引き継いでまいりたいと考えています。

さて、東日本大震災から5年が経ちました。その翌日、本県でも長野県北部地震が発生し、その後も多くの災害に見舞われました。その度に全国の皆様からいただいたご厚意にこの場をお借りして深く感謝の意を表しますとともに、東北3県の早期復興を心からお祈りいたします。

結びに、天皇皇后両陛下の^{いやさか}弥栄をお祈りし、ご列席の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。私の挨拶といたします。

平成28年6月5日

◆表彰

平成28年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、平成27年度緑化功労者、平成27年度全日本学校関係緑化コンクール、長野県みどりの功労者の表彰が行われました。



受賞者代表の皆さん（左から、山口怜依哉さん、鈴木茂さん、木村和仁さん、小本晋亮さん）

◆苗木の贈呈

苗木のスクールステイにより県内の学校で大切に育てられた苗木を、みどりの少年団から森山裕農林水産大臣と平口洋環境副大臣に贈呈しました。2本の苗木は代表者記念植樹の際に植樹していただきました。



森山裕農林水産大臣（左）と平口洋環境副大臣（右）

◆天皇皇后両陛下お手植え・お手播き

天皇皇后両陛下には長野県の歴史・文化に関わりのある樹種、地域の森林を代表する樹種から、苗木のお手植えと種子のお手播きを賜りました。記念樹は長野県の森づくりのシンボルとして、大切に育てていきます。



天皇陛下お手植え（ヒノキ、ウラジロモミ、コヤママキ）



天皇皇后両陛下お手播き（天皇陛下：カラマツ、クリ 皇后陛下：シラカバ、ナナカマド）



皇后陛下お手植え（シナノキ、タカトオコヒガンザクラ、ミズメ）



◆代表者記念植樹

天皇皇后両陛下の2本目のお手植えに合わせて、県内外の招待者代表の皆様による記念植樹が行われました。



◆記念式典アトラクション

山ノ内町で『信州・志賀高原から始まるいのちを守る森づくり「ABMORI (エビモリ)」』を実践している歌舞伎俳優の市川海老蔵さんが歌舞伎十八番の内「勸進帳」から「延年の舞」を披露してくださいました。



◆大会宣言



公益社団法人国土緑化推進機構 理事長 佐々木 毅

大会宣言

第67回全国植樹祭は、長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブを式典会場、長野県内10カ所を植樹会場として開催され、「ひと ゆめ みどり 信濃から 未来へつなぐ 森づくり」が大会テーマとして掲げられた。

先人の努力に思いを馳せ、感謝しつつ、森林の恵みを暮らしに活かしながら豊かな森林づくりを支え、子や孫の世代に美しいふるさとを確実に引き継いでいくため、私たちは、決意を新たに、次の事項に重点を置いて、緑化運動の更なる展開を図ることを宣言する。

- 一 未来へ豊かな森林をしっかりと引き継いでいくため、国民・企業・NPOなど多様な主体による「国民参加の森林づくり運動」の更なる展開を図る。
- 一 森林・木材の積極的な利活用により、森林・林業の循環を取り戻し、林業の再生・木材産業の振興、山村の活性化を促進する。
- 一 森林や木の文化を学び、緑を育む森林・環境教育の充実等により、緑豊かなふるさとを愛する心豊かで健やかな青少年を育成する。

平成28年6月5日

第67回 全国植樹祭

◆リレーセレモニー

全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」と、平成30年に全国植樹祭を開催する福島県に東日本大震災被災地の復興支援として贈るエノキの苗木を阿部守一長野県知事から石井隆一富山県知事に引き継ぎました。



◆次期開催県知事あいさつ

富山県知事 石井隆一

挨拶に先立ち、この度の「平成28年熊本地震」により、不幸にして亡くなられた方々とそのご遺族に深く哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、本日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、「第67回全国植樹祭」がここ長野県において、このように盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。

来年の「第68回全国植樹祭」は、「かがやいて 水・空・緑のハーモニー」をテーマに、富山県魚津市で開催します。式典会場となる「魚津桃山運動公園」は、雄大な立山連峰と美しい富山湾を望む絶好のロケーションとなっています。

大会では、「水と緑の森づくり税」を活用して進めてきた県民参加による多様な森づくりや、全国に先駆けて開発・普及に取り組んでいる優良無花粉スギ「立山 森の輝き」など、本県の豊かな森を守り育てる取組みを、全国の皆さんにご紹介いたします。

また、本県では、昨年10月、天皇皇后両陛下をお迎えして開催した「全国豊かな海づくり大会」や、先月開催されたG7環境大臣会合等において、本県が進める森・川・海を一体とした環境保全の取組みを国内外に発信いたしました。こうしたことも契機として、豊かな森づくり・海づくりの取組みをさらに発展させ、来年の大会につなげてまいります。

さて、富山県は、標高3千メートル級の立山連峰から水深1千メートルを超える富山湾まで高低差4千メートルという大変ダイナミックな地形を有し、豊かで美しい自然環境に恵まれております。特に富山湾は、平成26年10月に、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が全会一致で承認されました。

来年の大会では、こうした本県の多彩な魅力をご堪能いただき、「また富山に来たい」と思っていただけけるよう、県民挙げておもてなしの心でお迎えいたします。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げ、ご挨拶いたします。



◆閉会のことば

長野県議会議長 向山公人

本日、天皇陛下、皇后陛下の御臨席を仰ぎ、開催をされました第67回全国植樹祭を滞りなく無事終了することができました。

関係各位のご協力に、心から厚く感謝を申し上げ、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

◆天皇皇后両陛下御発



エピローグ ～美しいふるさとを次世代へ～

森づくりへの思いを表現するとともに、美しいふるさとが将来も継承されることを願いながら『ふるさと』を大合唱しました。

◆エピローグアトラクション

森に関する思いやメッセージを「山」や「森」、「自然」に関わり、さまざまな活動を行っている皆様から発信していただきました。

●信州やまほいく(信州型自然保育)

信州の豊かな自然環境と多様な地域資源を活用し、野外を中心としたさまざまな体験活動を積極的に取り入れる保育・幼児教育。



信州やまほいく(信州型自然保育)の認定園の一つ 学校法人いづな学園こどもの森幼稚園の園児達の歌とダンス

●ビデオメッセージ



「森にいつでも帰ってきてね」
信濃町 癒しの森
森林メディカルトレーナー
間瀬理恵さん



「森を守ることは、海を守ること」
宮城県気仙沼市
NPO法人「森は海の恋人」
理事長 崑山重篤さん

●書道パフォーマンス



松本蟻ヶ崎高等学校書道部



みんなの思いを込めた書

◆宇宙から未来へのメッセージ



JAXA宇宙飛行士 油井 亀美也 (川上村出身)



みなさんこんにちは。JAXA宇宙飛行士の油井亀美也です。本日は全国植樹祭の開催、本当におめでとうございます。先ほど映像での紹介のとおり、実は私は、今年の7月から12月まで約5ヶ月間国際宇宙ステーションに長期滞在をしました。そのフライトは私にとって初めてのフライトで、初めて宇宙に行ってきました。宇宙から見た地球の美しさ、これは本当に心に残っていて、今でも心に焼き付いています。暗黒の宇宙に非常にきれいな地球が浮かんでいる姿が本当に印象的でした。

私が宇宙に行く前は、地球は非常に大きく、水も空気も森も無限に近くらいあって、私たちが何をしても、まさに母なる大地という言葉のとおり、お母さんのように優しく守ってくれて、何でも許してくれるという風に思っていました。でもひとたび宇宙に行ってみると、実は国際宇宙ステーションは90分で地球を1周してしまうんですね。そのくらい地球が非常に小さく感じられて、さらに地球の表面に見える空気層というのが非常に薄くて、空気ってこれしかないんだ、という風に思いました。地球は非常に美しくて奇跡の星と言われますけれども、宇宙に行くと、この地球が壊れやすく脆いもので、私たちが守っていかなければいけないお母さんであり、これからは親孝行をして恩返しをしなければいけないんだという風に思いました。

今日、この植樹祭に参加し、私も約1年前に宇宙に行く前に植樹をしたことを思い出しました。これはロシアの伝統でして、宇宙に最初に行く宇宙飛行士は木を植えるという伝統があります。ロシアの伝統に従ってカザフスタンでアメリカと日本の宇宙飛行士が木を植えました。それと今日のことを合わせて考えると、植樹をするというセレモニー自体は大事なことを心に留めておく、そして、自分の夢、みんなの夢が叶うように祈るという文化なんだと思いました。そして、それはもしかしたら世界共通の文化なのかなと思うようになりました。今日植樹祭に参加された皆さん、ぜひ地球の大切さ、水、空気、森の大切さを心に刻んで、この美しい地球を次の世代に伝えるという大きな夢、大きなミッションのために力を合わせて欲しいと思います。宇宙開発も非常に難しいミッションですが、私も世界の人たちと心を合わせて協力して成果を出しています。この地球を守る、環境を守る、森を守る、非常に難しいミッションではありますが、世界中の人たちとみんなで力を合わせれば、これは必ず出来ます。みんな力を合わせて頑張りましょう。今日はどうもありがとうございました。

◆ふるさと大合唱

美しいふるさとが次世代に引き継がれることを願いながら、式典会場と4つの植樹会場を結び長野県全域で、唱歌『ふるさと』を大合唱しました。



長野会場



上田会場



伊那会場



松本会場



式典会場



出演者の皆さん



人の輪による年輪



おもてなし広場

◆おもてなしステージ

●午前の部 ～絆に感謝～

長野県北部地震、神城断層地震、御嶽山の噴火災害など、近年の災害の度に全国の皆様から寄せられた多くの支援に感謝して、被災された地域の皆様に演奏いただきました。



進行 沢井美和さん 2016年度ミス日本みどりの女神 飯塚帆南さん



榮太鼓・栄ふるさと太鼓



大桑アルプホルンクラブ



大桑村ヒノキ三味線クラブ「檜弦（ひづる）」



日本アルプス白馬八方太鼓保存会

●午後の部 ～信州が育んだ木と森の響き～

長野県に縁があり、式典音楽隊にも参加した、木製の楽器を奏でる2団体に演奏いただきました。



長野コカリナ合奏団



公益社団法人才能教育研究会スズキ・メソード



【式典音楽隊】公益社団法人才能教育研究会スズキ・メソード



【式典音楽隊】長野吉田高等学校



【式典音楽隊】長野東高等学校



【式典音楽隊】長野コカリナ合奏団



【式典音楽隊】長野市立城山小学校



【式典音楽隊】長野県警察音楽隊



【介添】長野市立西条小学校みどりの少年団



【介添】中野市立科野小学校みどりの少年団



【介添】茅野市立永明小学校みどりの少年団



【介添】千曲市立上山田小学校みどりの少年団



【介添】千曲市立八幡小学校みどりの少年団



【介添】千曲市立戸倉小学校みどりの少年団



【介添】千曲市立東小学校みどりの少年団



【介添】千曲市立更級小学校みどりの少年団



【介添】川上村立川上第一小学校みどりの少年団



【介添】麻績村立麻績小学校みどりの少年団



【介添】坂城町立坂城小学校みどりの少年団



【介添】信濃町立信濃小中学校みどりの少年団



【介添】小川村立小川小学校みどりの少年団



【介添】日本ボーイスカウト長野県連盟



【介添】一般社団法人ガールスカウト長野県連盟



【プロローグアトラクション】下諏訪町木遣保存会



【プロローグアトラクション】ながの祇園祭屋台運行実行委員会（権堂勢獅子）



【プロローグアトラクション】 信州御代田 龍の舞保存会



【プロローグアトラクション】 信州御代田 龍神太鼓保存会「鼓響」



【プロローグアトラクション】 東野大獅子保存会



【記念式典アトラクション】 市川海老蔵一座



【エピローグアトラクション】 学校法人いづな学園こどもの森幼稚園



【エピローグアトラクション】JAXA宇宙飛行士 油井亀美也



【エピローグアトラクション】松本蟻ヶ崎高等学校